

# エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業に伴う 環境影響評価方法書説明会

日時 令和3年12月11日（土）  
午後2時～午後3時30分  
会場 川崎市民センター

## 次 第

### 1 開 会

### 2 説 明

- (1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業の概要について
- (2) 環境影響評価方法書について

### 3 質疑応答

### 4 閉 会



一関地区広域行政組合公式LINEアカウント（施設整備関係）  
登録方法 ① 二次元コードを読み取ります。  
② 「追加」ボタンを押して登録します。

# エネルギー回収型一般廃棄物処理施設環境影響評価方法書説明会補足資料

## 候補地選定の経過

<b>(1) 整備候補地選定委員会</b>	
H30年9月～ R元年10月	組合管内全域から3段階で、49項目の絞込み条件を設定して候補地を選定候補地として4か所選定し、広域行政組合に報告。組合では、それら4か所を最終選考候補地とした。
<b>(2) 施設整備検討委員会</b>	
R元年9月～ R2年11月	4か所から1か所に絞り込むため、専門家の助言を受けながら27の評価項目を設定して評価 組合では、建設候補地を1か所に絞り込んだ。

新処理施設(ごみ処理施設)の建設候補地は、

**「弥栄字一ノ沢ほか」**

が最適であると評価

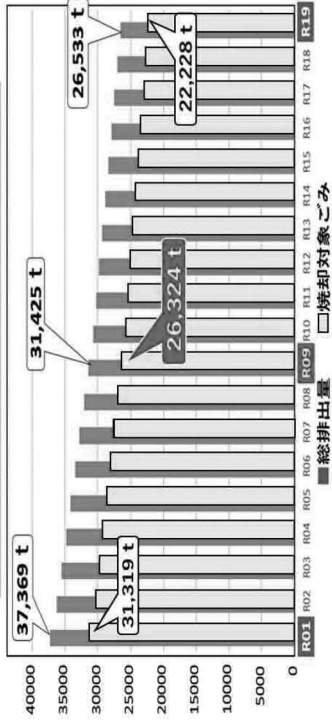


中央部周辺が候補地

## 施設整備基本方針

- ① 安定性に優れた安全な施設**
  - ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
  - ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設
- ② 環境に配慮した施設**
  - ・ 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
  - ・ 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設
- ③ 廃棄物を資源として活用できる施設**
  - ・ 廃棄物をエネルギー資源やリサイクル資源として活用できる施設
- ④ 災害に強い施設**
  - ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設
- ⑤ 経済性に優れた施設**
  - ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

## ごみの総排出量・焼却対象ごみの将来推計



処理方式：焼却方式

※ これに加え、堆肥化方式など、資源化率の高い処理方式を付加的に導入できないか引き続き検討

焼却炉の方式：ストローカ炉